



ふるさと基金海外研修

成長する自己

そして喜びと自信



毎年、町内の中学生を対象に行われている「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。海外での生活を通じて、語学や異文化を学ぶことを目的に行われている本研修に、今年は広見中学校3年杉村菜々子さん、東野乃さん、森中沙耶さん、山口ひなたさん、渡邉愛佳さんの5人が参加しました。

8月17日から26日までの10日間にわたり、オーストラリアのブリスベン市で研修を行った5人。異国の文化に触れ、そして現地の人々の優しさに触れ、ほんの少し大人になった生徒たちに、研修を終えての感想、未来へ馳せる思いを聞きました。



優しさに触れる 絆が生まれる

広見中学校 杉村 菜々子
10日間の研修は、あつという間に終わりました。最初は緊張していたけれど、ホストファミリーの優しさに触れ、緊張感がなくなりました。

平日は、学校に行き、英語レッスンを受け、バディーのクラスと一緒に授業を受けました。クラスで話をしていうちに友達も増えていきました。メールのアドレス交換もし、今でも交流しています。

ラグビーの試合に連れて行ってもらったり、バーベキューをしてくれたりとホストファミリーには感謝しています。もともとずっと英語を勉強して、世界に通じる人間になりたいと思います。



自分の成長を 体感できる喜び

広見中学校 東 野乃
私にとって初めての海外だったオーストラリア。空港から一步外へ出ると日本と違う景色が広がり、オーストラリアへ来たんだと実感しました。日本にはいない動物とも触れ合いました。壮大な景色にも感動しました。

最初、英語を話すときは緊張しましたが、みなさんが優しく接してくださいました。会話が成り立ったときはすごく嬉しかったです。楽しくあつという間の10日間でしたが、現地の体験はどれも貴重でかけがえのない思い出です。関わってくださった人に感謝するとともに、この経験をこれからの生活に生かしていきたいと思います。